

LIXIL ハイグリッドフェンス剣先1型 傾斜地用 取付説明書

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味



警告

- 取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。



注意

- 取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号



ポイント

- 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
- 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。



- 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
- 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。



補足

- 説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

<施工の前に>



警告

- 剣先部が鋭利なため、商品の取扱いには充分ご注意ください。
- 剣先部が目線より低くなる場所に設置しないでください。転倒時等において事故につながるおそれがあります。
- 高さの切詰めを行わないでください。剣先部が目線より低くなり、事故につながるおそれがあります。
- フェンスは隣地境界を目的に設置するものです。防護柵や手すり等としては使用しないでください。



注意

- 視覚効果を目的としておりますので、人の侵入防止を保証するものではありません。
- ブロック上へは施工できません。柱は独立基礎で埋込施工してください。規定以外の施工をした場合、基礎の強度がもたないおそれがあります。
- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。

<施工上のご注意>

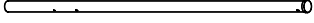
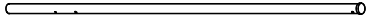


注意

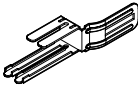
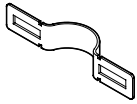

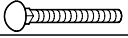



- 支柱の水抜き孔は、モルタル等でふさがらないでください。

■ 梱包明細表

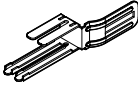
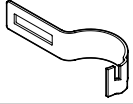

【1】支柱

名 称	略 図	員 数	
		T-18	T-20
T-18		1	—
T-20		—	1

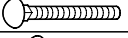



【2】傾斜支柱取付部品セット

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
傾斜地ストレート継手		4
中間バンドB		6
継手座金		4
【2-1】 M8×65角根ボルト		6
【2-2】 M8×25角根ボルト		6
【2-3】 M8用六角ナット		12
【2-4】 M8用平座金		12




【3】傾斜端柱取付部品セット

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
傾斜地ストレート継手		2
端部バンド		6
継手座金		2

【3】つづき

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
【3-1】 M8×65角根ボルト		4
【3-2】 M8×25角根ボルト		3
【3-3】 M8用六角ナット		7
【3-4】 M8用平座金		7
取付説明書〈C349〉	—	1

【4】傾斜角柱取付部品セット

名 称	略 図	員 数
		T-18・20
傾斜地コーナー用ストレート継手		4
傾斜地コーナー継手		4
端部バンド		12
継手座金		4
【4-1】 M8×65角根ボルト		6
【4-2】 M8×25角根ボルト		6
【4-3】 M8×16六角ボルト		4
【4-4】 M8用六角ナット		16
【4-5】 M8用平座金		16

1. 姿図および基本寸法図

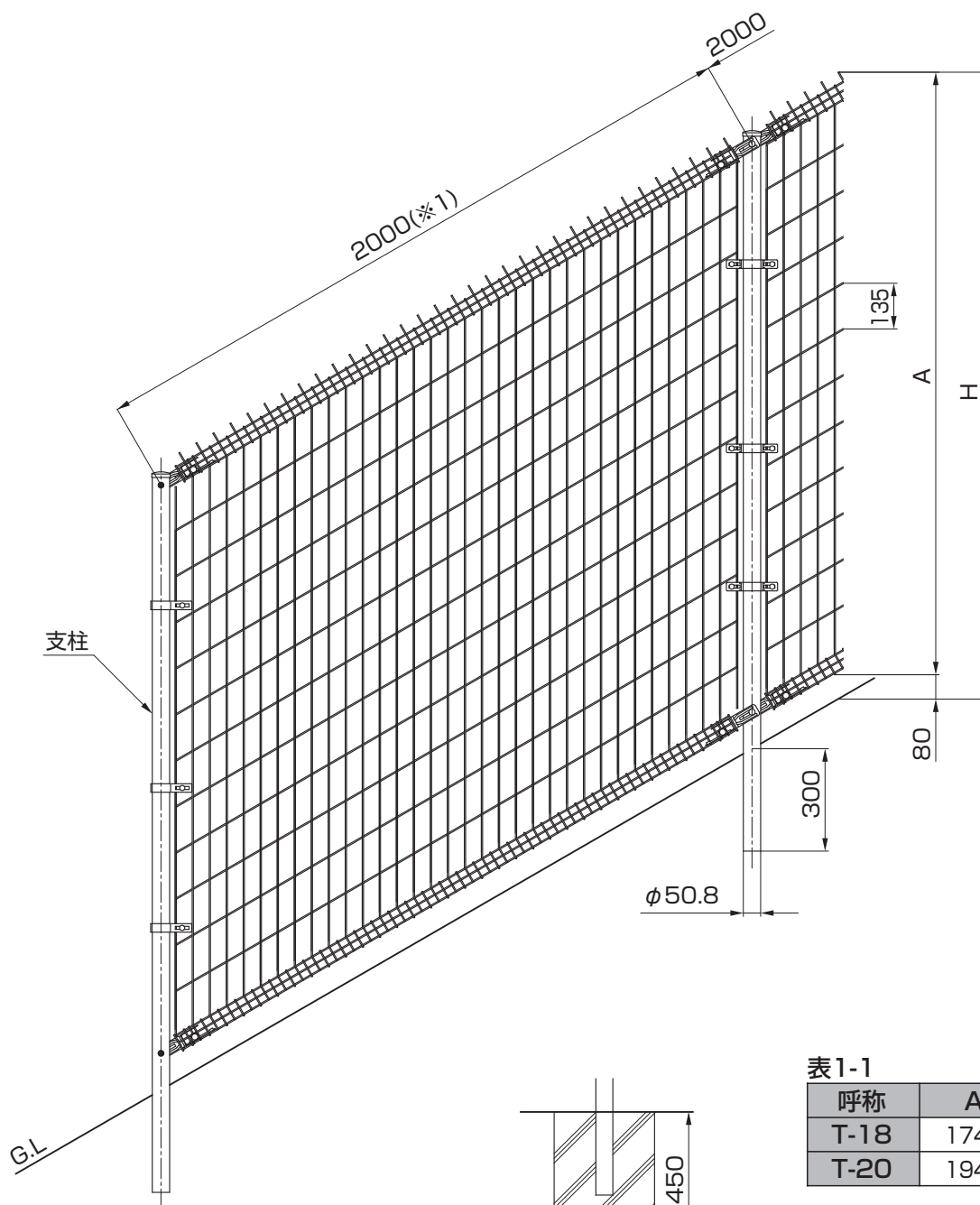


図1-1 基礎寸法参考値

表1-1

呼称	A	H
T-18	1745	1825
T-20	1945	2025

表1-2

呼称	基礎
T-18	180×180
T-20	200×200

ポイント

- 支柱は芯々寸法2000mmの間隔で施工してください。（※1）
- 支柱の水抜き孔は敷地側に向けてください。
- 対応角度は0°～35°です。
- 12.5°以上の傾斜本体に関しては、支柱に干渉する部分を切り落としてあります。ただし、コーナー傾斜等現場の状況で干渉する場合は、適宜本体の当る部分を切り落としてください。

2. 端部、中間部の施工

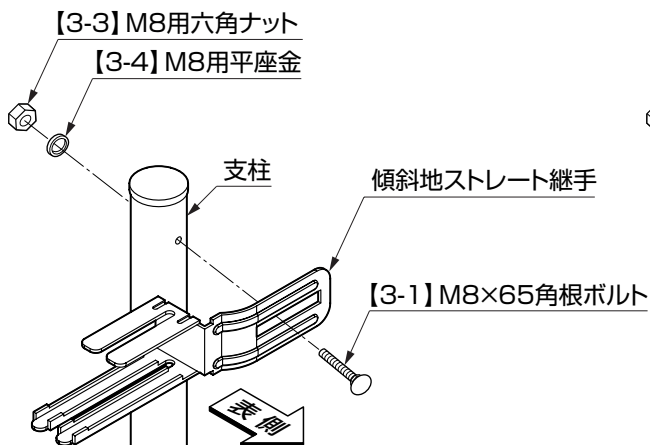


図2-1 端部

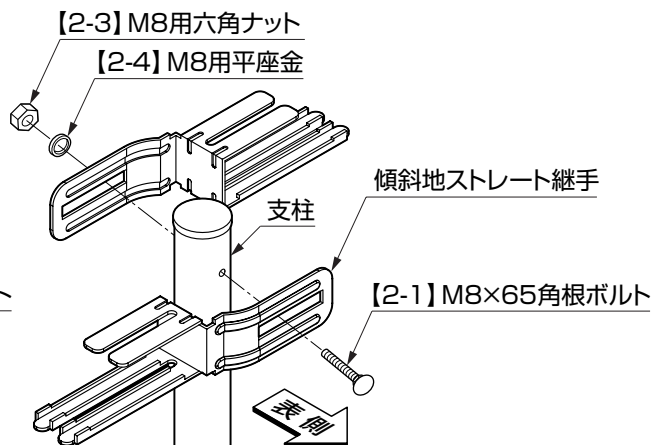


図2-2 中間部

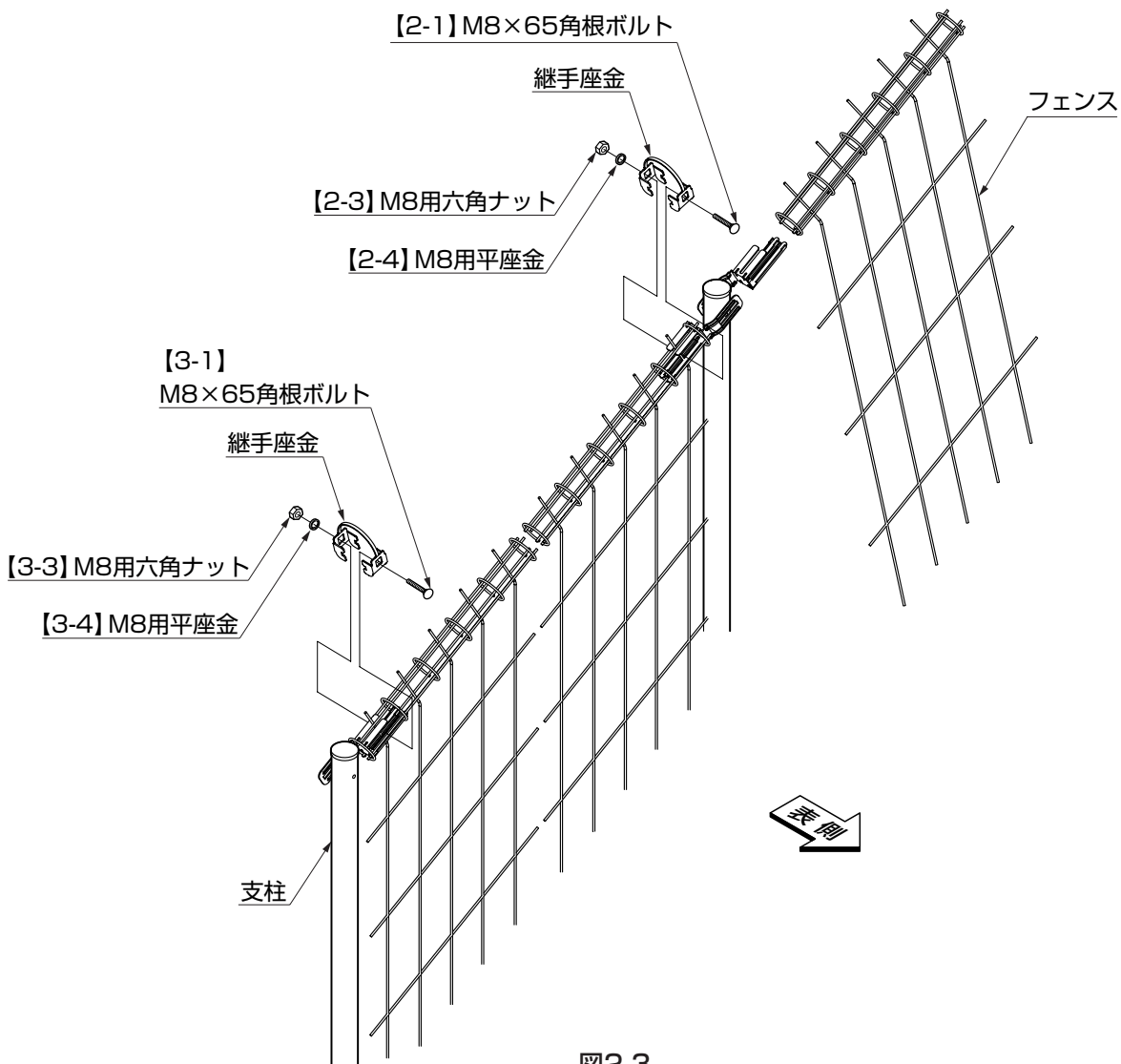
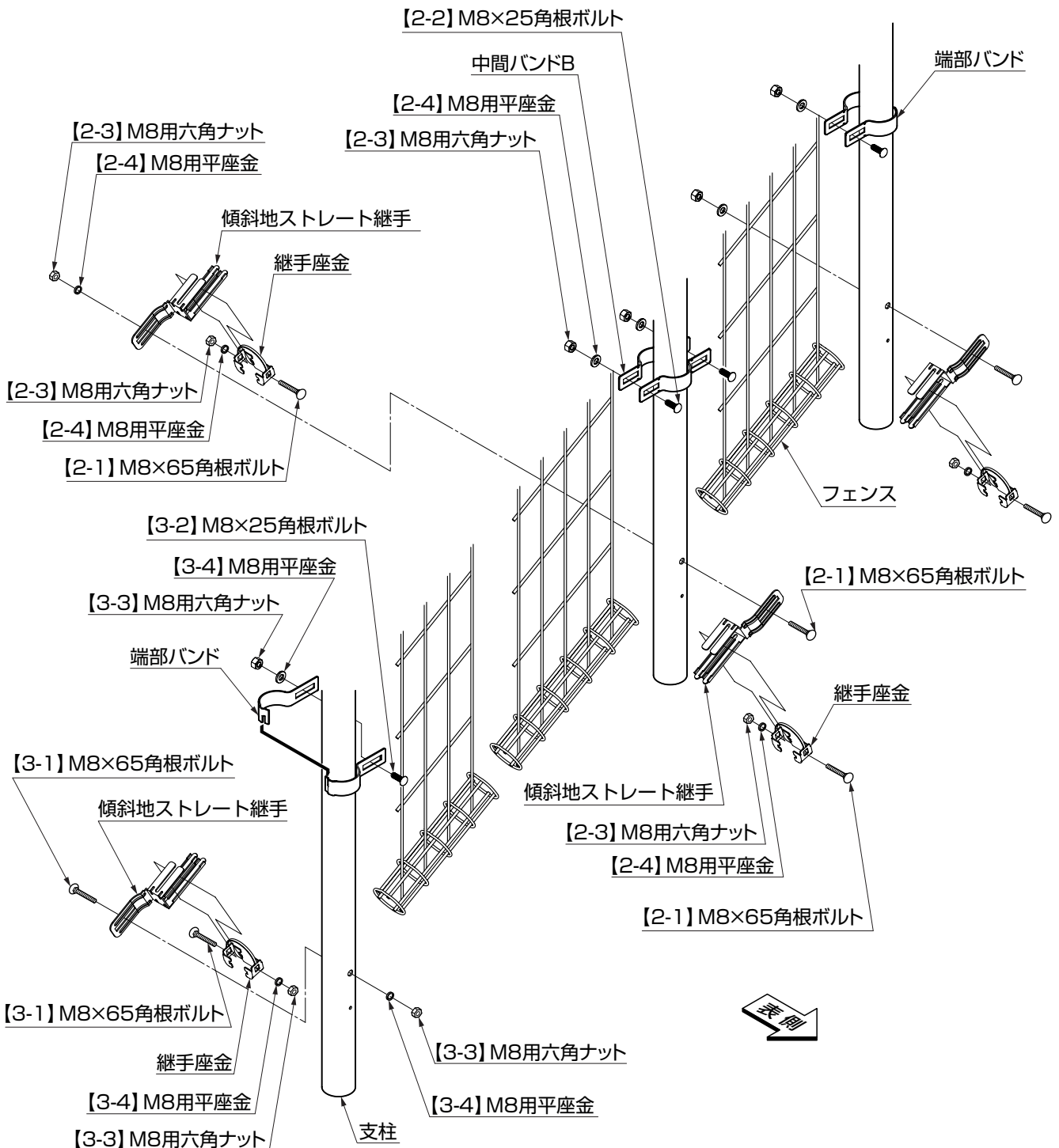


図2-3

- ①支柱の上部に傾斜地ストレート継手を端部は【3-1】【3-3】【3-4】、中間部は【2-1】【2-3】【2-4】で固定してください。（図2-1、図2-2参照）
- ②フェンス本体を傾斜地ストレート継手に仮置きし、継手座金を端部は【3-1】【3-3】【3-4】、中間部は【2-1】【2-3】【2-4】で仮止めしてください。（図2-3参照）

2. つづき



- ③ フェンス下部に傾斜地ストレート継手を差込み、継手固定金具を仮止めし、それぞれ端部は【3-1】【3-3】【3-4】、中間部は【2-1】【2-3】【2-4】で支柱に取付けてください。
- ④ 支柱とフェンスの隙間を調整後、各組付ボルトを固定してください。
- ⑤ 端部バンドは【3-2】【3-3】【3-4】で、中間バンドBは【2-2】【2-3】【2-4】で組付けてください。

3. コーナー部の施工

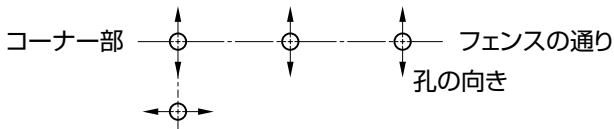


図3-1

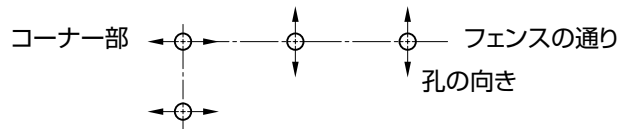


図3-2

①支柱を図3-1、または図3-2のような向きに立ててください。コーナー部に立てる支柱の向きは中間部に立てる支柱の向きと同じになります。

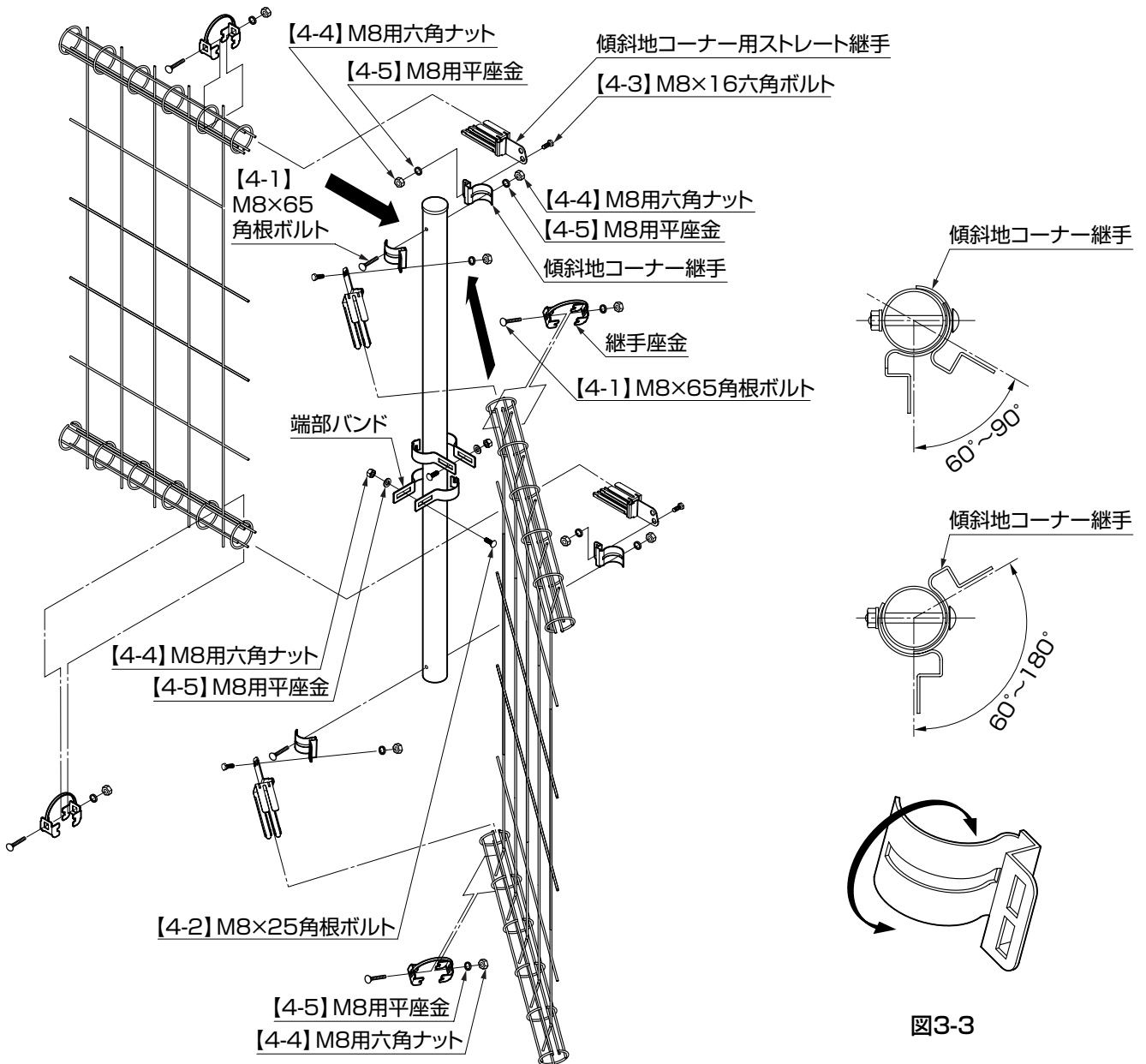


図3-3

- ②傾斜地コーナー継手を上下反転し組付け、傾斜地コーナーの角度調整をしてください。(図3-3参照)
- ③傾斜地ストレート継手を支柱上部に取付け、フェンス本体を仮置きし、端部、中間部の施工と同様に他の部品を組付けてください。

ポイント

- コーナー部の部品と支柱の固定は、支柱とフェンス本体を仮組みしてから行ってください。

4. フェンスの切り詰め

※図は右上がり傾斜フェンスを示します。

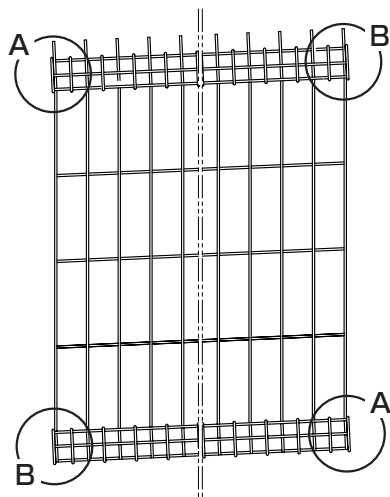


図4-1 フェンス角度:2.5°~10°

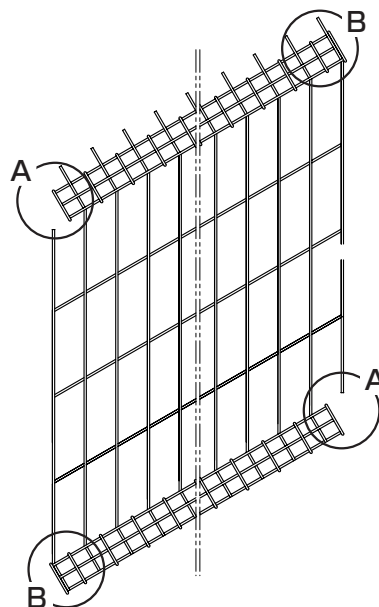


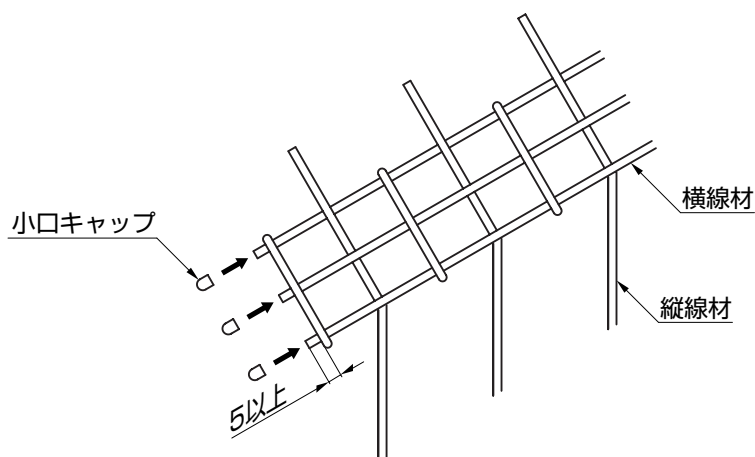
図4-2 フェンス角度:12.5°~35°

- ①支柱とフェンスが当たる場合、コーナー納まりの場合には、フェンスパネルのA部またはB部を切り落としてください。
 ※フェンス角度が12.5°~35°のA部は、あらかじめ支柱に当たる部分を切り落としています。

⚠ 注意

- フェンスを切断した時には、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。
- 小口キャップの取付けは、5.「小口キャップの取付け」を参照してください。

5. 小口キャップの取付け



- ①現場でフェンス本体の切り詰めを行う場合は、縦線材より5mm以上横線材を残して切断し、必ず小口キャップを取付けてください。

⚠ 注意

- フェンスを切断した時には、必ず小口キャップを取付けてください。ケガをするおそれがあります。

取説コード

C349

JZZ612992E
200605A_1001
201612F_1049